

平成23年度国立大学法人等  
職員採用（図書系）二次試験問題

注 意 事 項

1. 問題は**20問（20ページ）**で、解答時間は**2時間**です。
2. この問題は、後ほど回収します。切り取ったり、転記したり、持ち帰ったりしてはいけません。
3. 下欄に第一次試験受験番号、第一次合格通知書番号及び氏名を記入してください。

第一次試験受験番号	第一次合格通知書番号
氏名	

指示があるまで中を開いてはいけません

## 【No. 1】

次は、図書館及び資料の歴史についての記述である。(1)～(3)に該当する語句を答えなさい。

- 1)  (1)  図書館は、紀元前 3 世紀初頭、プトレマイオス朝エジプトの国王によって首都に作られた。古代ギリシャの文献を核に一大コレクションを形成し、姉妹機関ムセイオンとともに、ヘレニズム文化の成果を集大成し、言語学・医学等の諸学の発展に寄与した。カリマコスにより解題書誌「ピナケス」が作成された。
- 2) 活版印刷術の発明された 1450 年代から 1500 年の間にヨーロッパで刊行された活字本を総称して  (2)  という。写本の字体を模倣した活字が使われ、紙のほか獣皮紙も使用され、さらに写本のような彩色を施すこともあった。
- 3) 17 世紀後半に英国の王立協会から出版された  (3)  は、世界各地で優れた学者が行っている研究や作業を記録し、他の知識人に知らせることを目的としており、フランスの *Journal des Sçavans* とともに、学術雑誌のはじまりといわれている。

## 【解答欄】

(1)

(2)

(3)

## 【No. 2】

次は、図書館に関して業績のあった人物についての記述である。(1)～(3)に該当する名前を下から選び記号で答えなさい。

- (1) フランスの宰相マゼランの司書を務め、図書館論の嚆矢である『図書館建設のための提言 (Advis pour dresser une bibliothèque)』を書いた。そこでは、公平で系統的な選書、参考図書の収集などの資料収集方針が説かれ、優れた蔵書構成論が展開されている。同時に利用者への公開についても説き、図書館公開の原則が述べられている。
- (2) 1856年に大英博物館図書館長に就任し、1868年までその職を務めた。義務納本を徹底して図書収集を図り、書庫制度の導入や参考図書を備えた閲覧室を開設するなど読書環境の改善も行った。また、後に英米目録規則の土台となる91か条目録規則(91 Rules)を作成した。
- (3) 図書館の規模の大小を問わず、蔵書の成長に応じて適用できるように、簡単な第1表から詳細な第6表へと展開される、展開分類法を考案し、1891年から発表した。1千万冊規模の蔵書を想定する第7表も計画されていたが、彼の死によりこれは未完に終わっている。

- |         |          |           |           |            |
|---------|----------|-----------|-----------|------------|
| a. カッター | b. ゲスナー  | c. ジューエット | d. デューイ   | e. ノーデ     |
| f. パトナム | g. パニッツィ | h. ブリス    | i. ライプニッツ | j. ランガナータン |

## 【解答欄】

- (1)                      (2)                      (3)

## 【No. 3】

次は、我が国の出版流通の大きな特色である二つの制度についての記述である。該当する制度の名称を答えなさい。

- (1) メーカーが問屋、小売店、消費者への販売価格を決定し、その価格での販売を守らせる制度。本来ならば「独占禁止法」では禁止されている行為であるが、自由競争によって消費者の利益が害される恐れのある商品については、1953年の同法改正でこの制度が認められることになった。現在、図書、雑誌、新聞等が対象となっている。
- (2) 小売店がメーカーの生産した商品を、買切りではなく、返品可能な形で仕入れることのできる制度。出版界では一般に、出版社が発行した新刊書は取次を経由して書店へと配本されるが、この制度により、一定期限内であれば、書店は仕入れた本を再び取次を通して出版社に返品できる。

## 【解答欄】

(1)

(2)

**【No. 4】**

次の（１）～（３）は、大学図書館における図書館資料の利用および複製についての記述である。我が国の現行著作権法に照らし、著作権保護期間内であっても、著作権者の許諾や個別の契約によらず大学図書館が行うことができる場合には○を、行うことが適切でない場合には、その理由を答えなさい。

- （１）利用者からの求めに応じ、利用者の調査研究のため、ある雑誌の、先月に発行された最新号に掲載されている１論文すべてを複製し、利用者に提供した。
- （２）そのままでは保存が困難な紙媒体の資料について、他の媒体も含めて再入手できないことから、全体をマイクロフィルムに複製した。
- （３）他の大学図書館から、絶版で書店等にも在庫がなく入手できないことを理由に、図書的全頁複写を申し込まれたので、全頁を複製して提供した。

**【解答欄】**

（１）

（２）

（３）

## 【No. 5】

次は、文部科学省が実施した平成21年度の「学術情報基盤実態調査」の結果報告による、我が国の国公立大学図書館全体の現況に関する記述である。正しいものには○を、間違っているものには×を答えなさい。

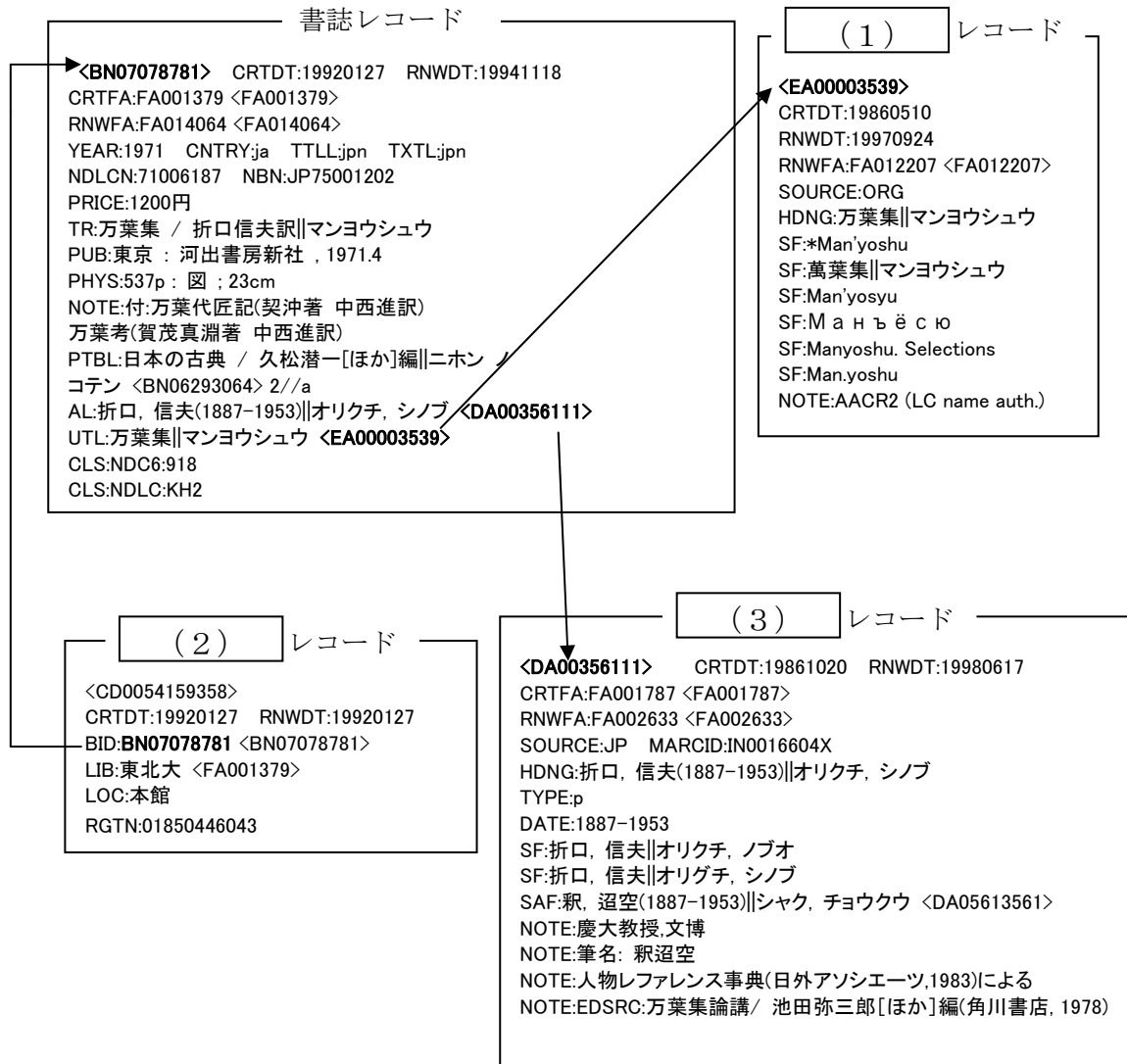
- (1) 電子ジャーナルの総利用可能種類数が増加するとともに、電子ジャーナル購入経費も増加傾向にある。その影響で、図書館資料費の総額も年々増加する傾向にある。
- (2) 機関リポジトリを構築している大学数は着実に増加し、コンテンツ数や利用状況も大幅に増加している。構築している大学の多くは、現在もコンテンツの確保や実施体制の整備を課題として挙げている。
- (3) 図書館施設設備に係る経費の確保は半数近い大学が課題としている。施設面の諸課題のうち、最も多くの大学が課題として挙げているのは、閲覧座席数の確保である。
- (4) 組織・人事面においては、「専門性を有する人材の養成・確保」を8割を超える大学が課題として挙げている。

## 【解答欄】

- (1)                      (2)                      (3)                      (4)

## 【No. 6】

次は、NACSIS-CAT の総合目録データベースのデータ構造を示した図である。(1)～(3)に該当する語句を答えなさい。なお、矢印は、レコード間のリンクを表している。



## 【解答欄】

(1)

(2)

(3)

## 【No. 7】

次は、「日本目録規則 1987 年版改訂 3 版」の第 2 章図書の本則による規定である。(1)～(5)に該当する語句を答えなさい。

2.4.1.2A 日本の出版地は、が所在しているを記録する。ただし、識別上必要があるときは、を付記または補記する。なお、市名の「市」は記録しない。東京特別区は「」とのみ記録する。

これに従えば、次の図書の出版地は、と記録する。

日本の色辞典（吉岡幸雄著）

紫紅社（京都府京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367） 発行

## 【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)



## 【No. 8】

次は、各図書を「日本十進分類法新訂9版」に基づき第3次区分表（3桁）で分類したものである。

□に該当する数字（0～9）を答えなさい。

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| (1) New 哲学入門（伊藤泰雄著）   | □ □ 4 |
| (2) 整数論入門（ヴィノグラードフ著）  | □ □ 2 |
| (3) 世界の憲法集（阿部照哉，畑博行編） | □ □ 3 |
| (4) 中国の名詩101（井波律子編）   | □ □ 1 |
| (5) 電子出版学入門（湯浅俊彦著）    | □ □ 3 |

## 【解答欄】

- |     |     |     |
|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) |
| (4) | (5) |     |

## 【No. 9】

次は、資料の組織化についての記述である。(1)～(3)に該当する語句を答えなさい。

- 1) オトレトラ・フォンテーヌが世界書誌作成のために編纂した〔 (1) 〕は、DDCを範としつつ、学术论文など詳細レベルの主題への対応を想定し、多数の共通補助表を備えている。1905年の初版の後、諸版が刊行されており、現在も標準分類の一つとして維持されている。
- 2) 機械可読目録は、米国議会図書館により1966年に試行実験が開始された。その後、英国、日本等で多数の機械可読目録のフォーマットが開発されたが、1990年代半ば頃から、米国・英国・カナダにより相互の目録データ共有を目指したフォーマット調整の検討が開始された。こうして1999年に統合されたフォーマットが〔 (2) 〕であり、現在、英語圏や北米の書誌ユーティリティを利用している各国において、デファクト・スタンダードになっている。
- 3) 1997年にIFLAから発表された〔 (3) 〕は、書誌情報の世界に対する概念モデルである。目録利用者の行動モデルとも関連させて、書誌情報の必要要件を考察し、「著作」、「表現形」、「体現形」、「個別資料」の4つの実体とそれらの関係を整理している。現在、多くの目録規則がこの考え方を取り入れる方向で動いている。

## 【解答欄】

(1)

(2)

(3)

## 【No. 10】

次は、書架分類と書誌分類のそれぞれの特徴を述べた記述である。正しいものには○を、正しくないものには×を答えなさい。

- (1) 10万冊を超える開架スペースをもつ図書館においては、同じ主題に属する資料が書架の数段にわたって排架され、利用者の資料へのアクセスが悪くなるため、書架分類が用いられることはない。
- (2) 『金融統計』のように、「金融」も「統計」も主題になりうる資料の場合は、書架分類では、それぞれを主題とした分類を与えることができるため、資料へのアクセスが向上する。
- (3) 書誌分類では、1冊の論文集に含まれる個々の論文や、雑誌に含まれる個々の記事などに対しても個別に書誌的記録を作成し、それぞれを分類の対象とすることができる。
- (4) 分類法の目的は、大別すれば、資料への物理的に直接的なアクセスを可能にすることと、資料のいわば「身代わり」である目録を介してのアクセスを可能にすることであり、書誌分類は前者の目的を果たすものである。

## 【解答欄】

- (1)                      (2)                      (3)                      (4)

【No. 11】

影印本とは何か答えなさい。

【解答欄】

【No. 12】

パスファインダーとは何か答えなさい。

【解答欄】

【No. 13】

図書館の閲覧方式には開架方式と閉架方式がある。図書館の管理運営からみた開架方式の短所を3つ、簡潔に答えなさい。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

## 【No. 14】

次は、コンピュータネットワークに関する記述である。(1)～(4)に該当する語句を答えなさい。

- 1) TCP/IP ネットワークでは、通信相手の識別に IP アドレスが用いられる。IP アドレスのうち、インターネット上で直接利用可能なものを  IP アドレスといい、組織内等の限定された LAN の中だけで用いられ、インターネット上では利用できないものを  IP アドレスという。
- 2) インターネットに接続される個々のコンピュータを識別するための名称をホスト名といい、ホスト名と IP アドレスの変換を行うサーバを  サーバという。
- 3) ネットワーク上のデータ通信速度を表す単位として「bps」が用いられる。これは1秒間に通信可能な  数を表している。

## 【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

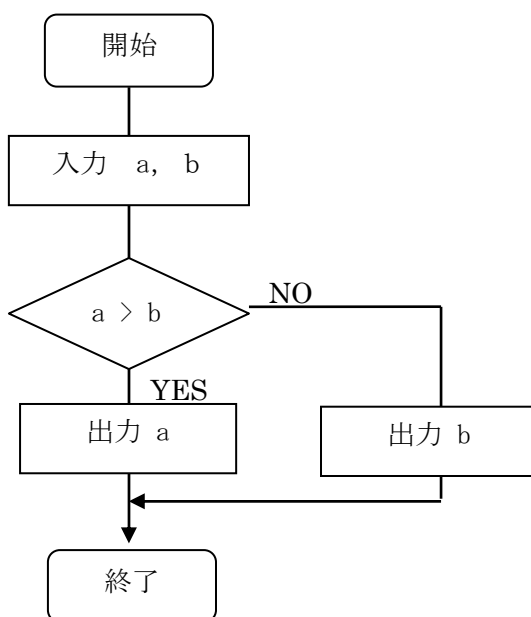
## 【No. 15】

以下は、二つのデータ  $a$  と  $b$  を比較して大きい方を求めるアルゴリズムをフローチャート（流れ図）で示したものである。

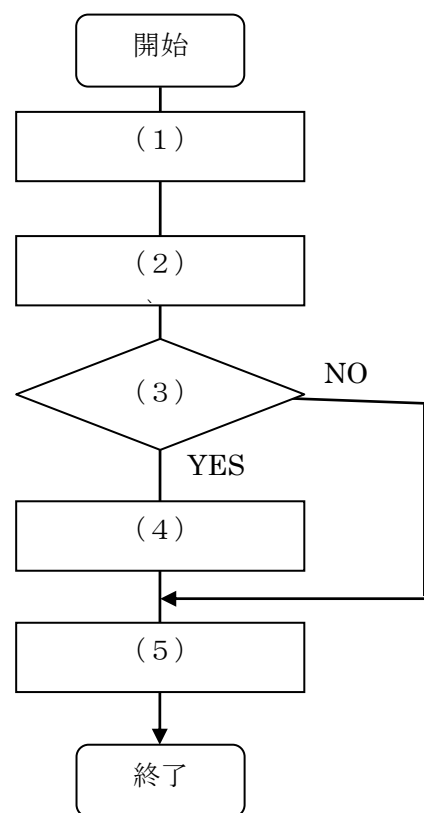
フローチャート1では、 $a$  と  $b$  を直接比較し、大きい方を求めている。変数  $i$  を用いて  $a$  と  $b$  の大きい方を求める場合、フローチャート2の（1）～（5）に該当する判断の条件式、処理等を答えなさい。

なお、変数  $i$  に値  $x$  を代入する時は、 $i=x$  と表しなさい。

フローチャート1



フローチャート2



## 【解答欄】

(1) (2)

(4) (5)

(3)

## 【No. 16】

次は、あるデータベースのシソーラスの一部を表したものである。A というディスクリプタの BT (上位語) は A1, NT(下位語)は A2, RT(関連語)は A3 であることを示している。B, C についても同様である。

A

BT A1

NT A2

RT A3

B

BT B1

NT B2

RT B3

C

BT C1

NT C2

RT C3

このデータベースを検索するとき、「A NOT B AND C」という検索式よりも、論理的に検索結果の件数が多い検索式には○、件数が少ない検索式には×、いずれともいえない検索式には△を答えなさい。なお、論理積を AND, 論理和を OR, 論理差を NOT と表記する。

(1) A NOT ( B OR B3 ) AND C2

(2) A1 NOT B1 AND C

(3) ( A OR A3 ) NOT B AND C1

(4) A2 NOT B1 AND C

## 【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)



## 【No. 17】

次は、Dublin Core Metadata Element Set, Version 1.1 の基本データ項目を表にしたものである。この表には、Term Name に対する Definition が入れ替わっている箇所が2組ある。入れ替わっている Term Name の組み合わせを答えなさい。

Term Name	Definition
title	A name given to the resource.
creator	An entity responsible for making the resource available.
subject	The topic of the resource.
description	An account of the resource.
publisher	An entity primarily responsible for making the resource.
contributor	An entity responsible for making contributions to the resource.
date	A point or period of time associated with an event in the lifecycle of the resource.
type	The nature or genre of the resource.
format	The file format, physical medium, or dimensions of the resource.
identifier	A related resource from which the described resource is derived.
source	An unambiguous reference to the resource within a given context.
language	A language of the resource.
relation	A related resource.
coverage	The spatial or temporal topic of the resource, the spatial applicability of the resource, or the jurisdiction under which the resource is relevant.
rights	Information about rights held in and over the resource.

## 【解答欄】

(1) \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_

## 【No. 18】

次の（1）～（4）に該当する用語を下から選んで記号で答えなさい。

- (1) The activities carried out by a library or processing center to prepare items for use.  
For books, includes jacketing, affixing labels and pockets, stamping ownership marks, and marking.
- (2) A transaction in which, upon request, one library lends an item from its collection, or furnishes a copy of the item, to another library not under the same administration or on the same campus.
- (3) Various methods by which leaves, sheets, sections, signatures, etc., are held together or affixed so that they will be usable and resistant to wear for a prolonged period.
- (4) Those activities connected with charging and discharging items borrowed from the library collection, generally for outside use. Included are the loan of items from special and reserve collections; maintaining loan records; monitoring and collecting overdues; renewing loans; reshelving items; stack maintenance; and the distribution of audiovisual materials.

- |                           |                          |                         |
|---------------------------|--------------------------|-------------------------|
| a. binding                | b. cataloging            | c. circulation services |
| d. collection development | e. information retrieval | f. interlibrary loan    |
| g. inventory              | h. library survey        | i. physical processing  |
| j. reference service      | k. shelf reading         | l. user education       |

## 【解答欄】

(1)                                  (2)                                  (3)                                  (4)

## 【No. 19】

次は、ローチェスター大学リバー・キャンパス図書館（RCL）における図書館サービス評価の取組みを紹介したものである。

Between 1996 and 2006, the number of reference queries that RCL received each year has dropped from 97,850 to 47,950 – a decrease of nearly 50,000 queries. While this is useful information, the numbers fail to answer the question “why?” Most of us would guess that the Web has taken the place of the reference librarian as a means for answering ready-reference questions. But, should all of this decrease be attributed to the Web? According to the qualitative data, at least at RCL, the answer is “no.” And more importantly, there are things librarians can do to reverse some of this trend.

Buried within the hundreds of pages of students interview transcripts that the RCL projects collected are indications of some of the barriers that prevent students from approaching the reference desk for assistance. For example, there is frequently a queue of students waiting to use the public computers in the libraries. Consequently, a student at a computer who needs reference assistance might not want to risk losing his/her spot at the computer by walking away from it to go to the reference desk. The need for reference assistance is still present, but the requirement of physically visiting the reference desk is no longer an adequate solution.

レファレンスの件数が減少した原因として、筆者が、（１）推測したこと、（２）実際の調査から読み取ったことを日本語で簡潔に答えなさい。

## 【解答欄】

（１）推測したこと：

（２）実際の調査から読み取ったこと：

## 【No. 20】

次は、図書館のサービス・プランの策定と実行に関する記述である。

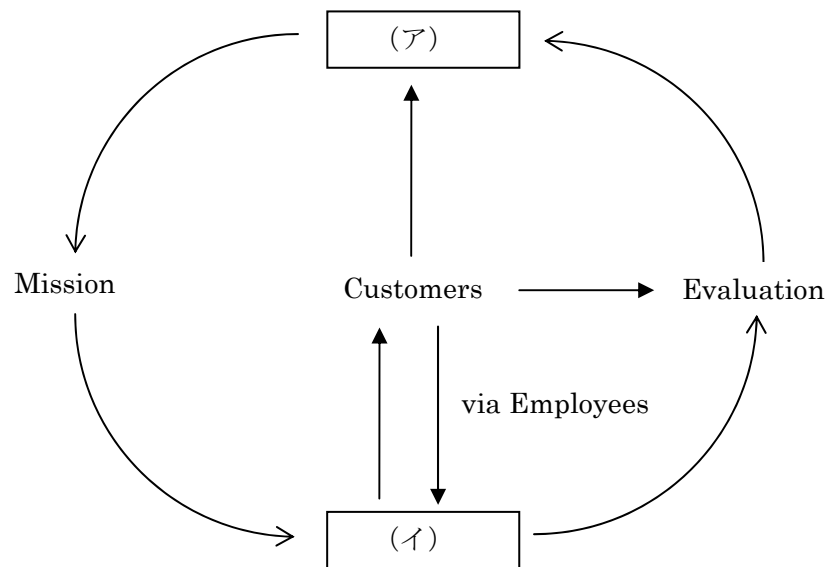
The concept of taking control refers to the process of understanding the factors that influence how service quality and satisfaction are defined, achieved, and assessed and how these factors influence the mission of the library and its funding. It also refers to the process of using one's management prerogatives and skills in taking control of elements within one's domain and power in order to influence outcomes.

Figure 1, which arranges a set of relationships called "the wheel of influence," illustrates the key interrelating factors. In this model, the funding source is placed at the top. This source will vary in libraries of different types, but in all cases the funding source will be the individual or body that is responsible for allocating the library budget or has ultimate responsibility for how much money the library is given to operate according to its mission. This is the group that has its hands on the purse strings. In a public library, this group is the board of trustees or local government; in an academic library, it may be the provost and others who allocate the budget. From the funding source, follow the wheel counterclockwise.

The next point of influence is the mission itself. Clearly, those individuals who are charged with the funding responsibility significantly influence the acceptance, if not the definition, of the mission. The connection between the funding source and the mission is integral.

Continuing counterclockwise past the mission, the next influence point is execution. This represents all the ways in which the library's mission is carried out and, in particular, the ways in which service is delivered to the customer. Some service can be delivered to the customer without necessarily involving staff directly; however, the role of staff in delivering service to customers is critical. This link between staff and customer is reforged each time an interaction between the two takes place, and it is through such encounters that the customer creates a mental image of the library and its panoply of offerings. Jan Carlzon describes such encounters as "moments of truth."

Figure 1 : The Wheel of Influence



(1) (ア) ~ (イ) に該当する語句を英語で答えなさい。

(2) Jan Carlzon が言う「真実の瞬間」とはスタッフと顧客のどのような出会いであるか日本語で簡潔に答えなさい。

【解答欄】

(1)

(ア)

(イ)

(2)